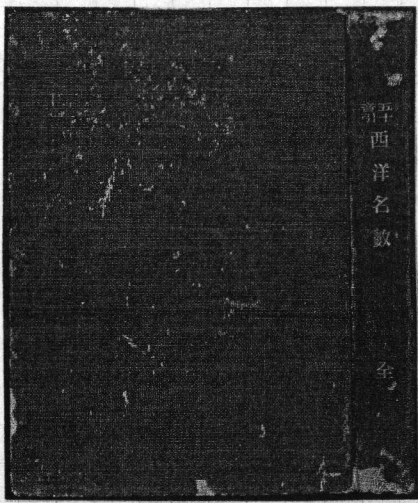


上田萬年 （おのづか） 言語學・國語學者、文學博士。慶應二年一月七日江戸生れ、昭和三十二年十月二十六日歿（八六七一九三七）。幼名柳太郎。號柳樓。少時竹馬の友齋藤詠雨と回覽雜誌を作る。明治二十一年帝國大學文科大學科文科卒。歐洲留學後、二十七年帝大教授。のち文部省專門學務局長、東京帝大學長、神宮官立學館館長、貴族院議員、國學院大學學長等歴任。小説家圓地文子は次女。

譯著書、グリム作『おほのみみ』（内題「狼」重譯、明治二十一年十月五日吉川半七刊「家庭叢話」）、『國語のため』（明治二十八年六月二十三日付刊、富山房書店）、『作文教授法』（明治二十八年八月九日付刊、富山房書店）、『新體詩歌集』（外山正一 坂村正睦合著、明治二十八年九月）『千五百大日本圖書株式會社』、『國字改良叢書』（合著・堀江秀雄纂、明治二十五年七月）『千一百金澤學堂書籍株式會社』、『國語のため・第一』（明治二十八年六月十日）富山房）、蜀山人著『よもゝのあか』（校訂、明治二十六年十一月）富山房「名著文庫」、（五千） 西洋名數（附朝鮮名數）』（明治二十七年一月）富山房）、柴田鳩翁著『鳩翁語話』（校訂、明治二十七年）富山房「名著文庫」、（元） 時



蘇代輕口はなし』（校訂、明治二十七年五月五日有朋館）、著者不詳『松の葉』（校訂、明治四十年一月）富山房「名著文庫」、『國語學叢話』（木村定次郎編、明治四十二年一月）千九百博文館「學藝叢書」、（木）

- 『校平家物語』 (明治四十一年十一月) 千白大日本圖書株式會社)、『校定古事記』全二冊 (本洋書類) 井上賴國共校定標記、明治四十四年四月) 日皇典講究所、積文社・阪柳原書店)、『趣味大江戸』 (合著・江戸研究会編、大正二年十月、二十四日大屋書房)、『英雄史談』 (大正五年五月十日廣文堂書店)、『國語學の十講』 (内題「國語學十講」) 大正五年六月二十日通俗大學會「通俗大學文庫」)、『興國新井白石』 (大正六年一月九日廣文堂書店)、『大阪文化史』 (大阪記念講演集) (合著・大阪毎日新聞社編、大正十四年八月) 千白大坂毎日新聞社)、『淨增濟句評註なほみゆけ』 (校訂、大正十五年八月十五日廣文堂書店)、『建國の文藝』 (合著・國教聖館編、昭和二年二月) 千白會通社)、『近松佐助集』 (樋口慶千代共著、昭和五年五月) 千白喜山房) 等。